事業番号	201

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	緑化推進事業							担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業以外				担当課	みどり公園課	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	花と緑推進係	
	総合計画分野別計画 主目的	6 都市基盤	27 公園・緑地・緑道	1 緑化意識を高めます							
	総合計画分野別計画 副目的	27-3							実施計画対象		
	予算区分	款	8	項	4	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市緑の基本計画									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	小牧市を緑とやすらぎのある美しいまちにすることを目指し、市民の緑化意識の高揚と市民自らによる緑化推進を促す。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ○花修景花壇への花苗配布を緑化推進協議会の花いっぱい運動へ統合一元化し、緑化推進協議会へ委託した。 ○小牧市緑化推進協議会へ緑化事業を委託した。 （協議会の具体的な活動としては、花いっぱい運動の花苗配布、緑化木の配布、緑の教室、緑化施設見学など。平成26年度から会員の緑化活動に対する助成事業を新設した。） ○みどりの少年団活動を支援するため、県補助金の交付申請等の事務を行った。 ○あいち森と緑づくり税を財源とした小牧市都市緑化推進事業補助金で、民間の緑化事業2件について支援した。 ◆26年度直接経費の内訳 委託料 11,000千円（小牧市緑化推進協議会委託） 負担金 40千円（愛知県緑化推進委員会） 補助金 4,510千円（都市緑化推進事業補助金） ◆27年度直接経費の内訳 委託料 10,000千円（小牧市緑化推進協議会委託） 負担金 40千円（愛知県緑化推進委員会） 補助金 10,000千円（都市緑化推進事業補助金） 1,000千円（生け垣・屋上緑化奨励事業補助金） 消耗品 690千円									
	受益者負担	無									

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費			千円	7,986	23,127	15,550	21,730
	正職員	従事者数		人	0.20	0.20	0.20	0.50
		人件費		千円	1,052	1,052	1,052	2,630
	その他職員	従事者数		人	1.00	1.00	1.00	0.00
		人件費		千円	1,589	1,376	1,656	0
	費用合計			千円	10,627	25,555	18,258	24,360
	対前年比			%		240.4	71.4	133.4
財源	一般財源			千円	10,627	13,854	13,748	14,360
	国・県支出金			千円	0	11,701	4,510	10,000
	その他財源			千円	0	0	0	0

事業番号	201

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	緑化推進協議会活動回数	回	目標	14	14	14	14
			実績	14	14	14	
	生け垣設置・屋上等緑化奨励事業補助金交付件数	件	目標	8	8	8	8
			実績	1	0	0	
	小牧市都市緑化推進事業補助金	件	目標	5	5	5	5
			実績	0	3	2	
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	緑化推進協議会会員数	人	目標	1,050	1,050	1,050	800
			実績	977	881	786	
	民地緑化面積（民有地緑化補助により緑化された面積）	m2	目標	1,010	1,010	1,010	1,010
			実績	6	1,914	375	

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	緑化推進協議会の会員が減少傾向である。 みどりの少年団は、結団を呼びかけた結果、26年度から1校増え、5校となった。 緑化推進協議会では、会員自らが行う緑化活動に対する助成事業を創設し2件の活動に対して助成を行った。	
	事業実施における課題	・緑化推進協議会は、市民との協働の核となる組織として、充実させていく必要がある。 ・生け垣設置や屋上等緑化の補助は、近年、利用者少ない状況である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民のみ、企業のみでの緑化推進は限界があり、事業を廃止すれば、市内の緑化推進が減退する恐れがある。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	花修景花壇について、市民団体との協働による管理に取り組んでいく。また、生け垣設置や屋上緑化・都市緑化推進事業の補助申請が少ない状況であるためそのPR方法を検討していく。 緑化推進協議会における緑化活動に対する助成の利用を会員に呼びかけ、会員自らが行う緑化活動を後押ししていく。。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	小牧市を緑とやすらぎのある美しいまちにするには、今後とも緑化推進に取り組んでいく必要がある。	
	28年度以降の改善案	緑化推進協議会の会員が減少傾向である。原因としては、従来からの会員の高齢化とメリットを感じないことによる退会と思われる。市民に対し活動を周知し、活動に対する賛同を得ることで、新規の会員の獲得につなげていく。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。 会員の獲得に向けた啓発活動については、より有効な方法への見直しを検討するとともに、申請件数の少ない補助金については、内容と効果について検証を行い、廃止・縮小を含めた見直しを行うこと。